

北海道男女平等参画チャレンジ賞推薦書の記入要領

1 【候補者】について

○氏名（候補者及び代表者）

戸籍に記載されている字画で記入してください。

○生年月日

西暦で記入してください。

○所属（個人のみ）

チャレンジを行っている活動の場である勤務先又は所属団体の名称を記入してください。個人で活動し、特に所属がない場合は空欄となります。

○住所・所在地

郵便番号、住所、電話番号及びFAX番号、メールアドレスを記入してください。住所は、市町村名、番地まで略さずに記入してください。

○ご連絡先

（候補者が個人の場合）

日中に連絡のつく場所の住所等（勤務先等）を記入してください。ご自宅と同様の場合は住所や電話番号、FAX番号を記入する必要はありません。E-mailのみ記入してください。

（候補者が団体・グループの場合）

連絡担当者の所在等を記入してください。連絡担当者が代表者で、住所等が所在地と同様の場合は記入する必要はありません。E-mailのみ記入してください。

○学歴・職歴・公職歴（個人のみ）

学歴や職歴、公職歴について年月日順に記入するとともに、免許、資格、学位等の取得についても年月日順に記入してください。

○設立経緯・沿革（団体のみ）

団体・グループの設立時の状況と、現在に至るまでの活動状況や組織状況を年月日順に記入してください。

提出の際は、団体・グループの構成員名簿や定款を添付してください。

○賞罰

今までに受けた表彰・刑罰について、年月日順に、表彰・刑罰名と内容を記入してください。

2 【推薦者】について

○推薦者氏名、推薦者連絡先

推薦者の氏名及び連絡先を記入してください。

推薦者が団体・グループの場合は、「推薦者氏名」に代表者氏名、「所属・役職」に団体名と代表者の役職、「推薦者連絡先」に連絡先と担当者の所属及び氏名を記入してください。

自薦の場合は、記入する必要はありません。

3 【活動内容・アピールポイント】について

候補者の活動について、①ロールモデル度、②アピール度、③成功度、④先駆性、⑤将来性、この5つの視点からみた活動内容を、それぞれ具体的に記入してください。また、チャレンジの成果の規模がわかる具体的な数値や事例なども記入してください。

候補者の実績等についての資料（新聞記事、パンフレット、写真等）がありましたら、添付してください。資料の出典及び日付も明記してください。ただし、活動内容等の記載を省略した「別紙参照」のみの記入は避けてください。

<評価の観点>

- ① ロールモデル度 道民が自らチャレンジしたいと思うような、身近なモデルとなっている活動
- ② アピール度 男女平等参画社会づくりに寄与している事例として、道民に訴えかける活動
- ③ 成功度 チャレンジの結果、どのような成果を上げたか
- ④ 先駆性 新たな活動の領域を拓くなど、従来見られなかったような先駆的な活動
- ⑤ 将来性 今後も様々な分野で活躍することが期待できるか
- ⑤ 今後も様々な分野で活躍することが期待できること

4 【推薦理由】について

推薦者が、どのような点から候補者を推薦しようと考えたか、具体的に記入してください。

自薦の場合は、記入する必要はありません。

5 その他

記入に際してご不明なことがございましたら、環境生活部くらし安全局 道民生活課女性支援室 男女平等参画係までお気軽にご連絡ください。

(TEL : 011-206-6954 FAX : 011-232-4820 E-mail: kansei.dousei4@pref.hokkaido.lg.jp)

【活動のアピールポイント 記載例】

下記の5つの項目について、候補者がどのようなチャレンジを行い、どのような成果を上げているか、それぞれ具体的に記入してください。

① ロールモデル度（道民が自らチャレンジしたいと思うような、身近なモデルとなっている活動）

同じような活動を始めたいと悩んでいる人の後押しとなるような体験や、交流イベントを行った経験など、道民にも身近に感じられる経験・取り組み等について、具体的に記載してください。

（例）

- ・病を患ったことをきっかけに、思うように身体が動かせないようになった。一時期は挫折感を味わったが、周りの支えもあり乗り越え、自らの体験を伝える講師として活動している。
- ・出産を機に一度退職していたが、一念発起し起業。現在は、同じように起業を考える女性たちを応援するイベントを企画・運営。

② アピール度（男女平等参画社会づくりに寄与している事例として、道民に訴えかける活動）

講座の開催や展覧会への参加等、道民の男女平等参画への向上に寄与しているような活動を記載してください。

（例）

- ・自らの経験と当事者としての視点を生かした商品開発を行い、その際培ったノウハウを元に、福祉事業者向けに講座を開催。
- ・企業からの協力を得て講演を行うほか、全国規模の展覧会等に参加することで、全国の福祉に携わる現場の方々から高評価を得た。

③ 成功度（チャレンジの結果、どのような成果を上げたか）

①及び②の活動を行った結果上がった成果を具体的に記載してください。

（例）

- ・新聞やテレビ等のメディアで取り上げられた。
- ・行政、企業から講演依頼を受けた。
- ・販売している商品の売上げが向上した。
- ・イベントの参加人数や規模が拡大している。

④ 先駆性（新たな活動の領域を拓くなど、従来見られなかったような先駆的な活動）

新たな活動の領域を拓いたといった先駆性が分かるように、具体的な事例を交え記載してください。

なお、すでに類似の活動等がある場合は、それらとの相違点を記載してください。

（例）

- ・全国的にも珍しい取り組みで、国内外からSNS等で問い合わせが来る。
- ・すでに類似の活動はあるが、大学等と連携を図り学生にも企画段階から参加してもらっているものは珍しい。

⑤ 将来性（今後も様々な分野で活躍することが期待できるか）

現在の活動や事業の継続性が期待できる根拠や、分野が広がる見込みがあるか否かといった、活動の将来を期待できるような具体的な事例を交え記載してください。

（例）

- ・イベントが盛況だったことで、企業等との目にとまり、タイアップの話が来た。来年は規模を拡大する予定。

【推薦理由】 ※自薦の理由は記入不要です。

※ 候補者の実績等についての資料（新聞記事、パンフレット、写真等）を添付してください。

※ 資料には、出典及び日付を明記してください。

※ 推薦書に記載された個人情報、本推薦及び表彰に関する用途に限って使用し、「北海道個人情報保護条例」等に基づき、適正に管理します。

● 問い合わせ先 北海道環境生活部くらし安全局道民生活課 女性支援室男女平等参画係
TEL：011-206-6954 FAX：011-232-4820 E-mail: kansei.dousei4@pref.hokkaido.lg.jp

※①～⑤の項目に関連した資料を添付してください。